

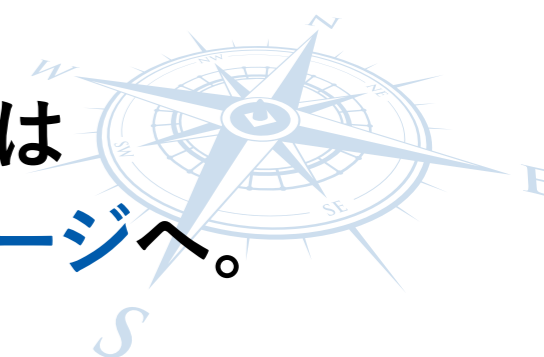


Credit : Dunkerque LNG—HappyDay

急速に変化する外部環境と私たちの果たすべき使命

変わらぬ使命とその時々々の外部環境に応じて、事業領域やビジネスモデルを柔軟に変化させ、強くしなやかに生き残ってきた私たち商船三井グループ。2020年代、私たちは今、大きな変化の時にあります。

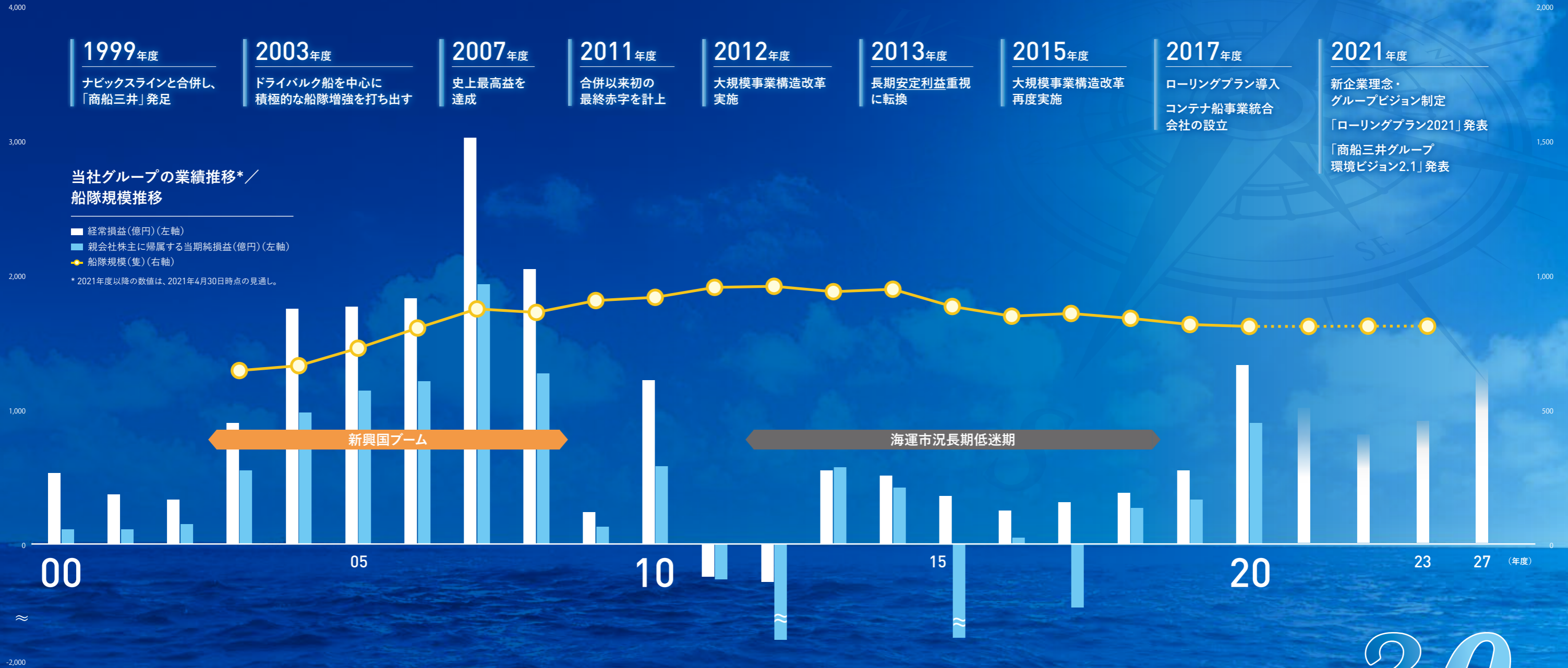
商船三井グループは新たな成長のステージへ。



Credit : Panama Canal Authority



「商船三井」の20年間とこれから



2000年代 商船三井 1.0

新興国経済の爆発的成長に支えられた空前の海運ブーム。

新興国の経済発展をタイミングよく捉え、ドライバルク船を中心に積極的な船隊整備を実施。世界有数規模の海運会社に躍進。

2010年代 商船三井 2.0

海運ブーム終焉で、一転して船腹過剰の時代へ。

リーマンショック後の船腹過剰による長期市況低迷下、二度の事業構造改革と長期安定型事業への集中投資を断行。不振のコンテナ船事業再編も実施し、市況に左右される企業体質からの脱却に目途。

2020年代

商船三井 3.0

サステナビリティ意識の高まり、DXの進展など、ゲームのルールが大きく変わる時代。

脱炭素化をはじめとする顧客や世の中の新たなニーズに応え、輸送にとどまらない、海を起点とした社会インフラ企業への脱皮を目指す。

商船三井グループにとっての新たな時代の幕開けに合わせ、
2021年4月、新たな企業理念とグループビジョンを策定

企業理念

青い海から人々の毎日を支え、
豊かな未来をひらきます

グループビジョン

海運業を中心に様々な社会インフラ事業を展開し、
環境保全を始めとした変化する社会のニーズに
技術とサービスの進化で挑む。

商船三井は全てのステークホルダーに新たな価値を届け、
グローバルに成長する強くしなやかな
企業グループを目指します。

価値観・行動規範



Challenge	大局観をもって、未来を創造します
Honesty	正道を歩みます
Accountability	「自律自責」で物事に取り組みます
Reliability	ステークホルダーの信頼に応えます
Teamwork	強い組織を作ります
Safety	世界最高水準の安全品質を追求します

Contents

Our Vision, Our Value

- 06 社長メッセージ
- 12 価値創造モデル
- 14 価値創造の成果

For Our Sustainable Growth

- 16 経営計画の振り返り
- 18 ローリングプラン2021
- 22 Business Overview
- 24 セグメント別事業概況
- 32 特集：既存の枠にとらわれない新規事業を生み出す
～MOL Incubation Bridgeの取り組み～
- 34 CFOメッセージ
- 36 チーフエンバイロメント・サステナビリティオフィサー
(CESO)メッセージ
- 38 サステナビリティ課題(マテリアリティ)の全体像
- 40 輸送を通じた付加価値の提供
- 44 海洋・地球環境の保全
- 48 海の技術を進化させるイノベーション
- 52 地域社会の発展と人材育成
- 56 会長メッセージ
- 58 諮問委員会 委員長メッセージ
- 62 取締役・監査役・執行役員
- 65 コーポレートガバナンス
- 70 リスク管理
- 74 コンプライアンス
- 75 社会的責任

Data Section

- 76 11カ年サマリー
- 78 MOL Group's Global Network/
商船三井グループの歴史
- 79 情報開示と社外からの評価
- 80 用語集
- 81 株主情報

本冊子中に記載されている下線の用語に
ついては、巻末の用語集をご参照ください。

報告対象範囲

(株)商船三井、連結子会社363社、持分法適用関連会社110社、
及びその他関係会社(活動やデータについて対象を限定する場合は、
レポート中に注記しています)

* 本報告書中の「当社」とは(株)商船三井を指す。

見直しに関する注意事項

このレポートには、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する
予想及び見直しの記述が含まれています。これらの記述は過去の
事実ではなく、当社が現時点*で把握可能な情報から判断した
仮定及び所信に基づく見込みです。また経済動向、海運業界に
おける激しい競争、市場需要、燃料価格、為替レート、税制や諸制
度などに関するリスクや不確実性を含んでいます。このため実際の
業績は当社の見込みとは異なる結果となる可能性があることを
ご承知おきください。

* 特にことわりがない限り2021年8月末時点。

参照したガイドライン

- 国際統合報告評議会(IIRC)
「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」



価値協創ガイダンス各項目からの逆引きインデックス

- 1. 価値観
▶ P4、P6～11、P36～37、P42
- 2. ビジネスモデル
▶ P6～13、P22～33、P78
- 3. 持続可能性・成長性
▶ P6～11、P16～55、P74～75
- 4. 戦略
▶ P6～11、P16～31、P34～55
- 5. 成果(パフォーマンス)と重要な成果指標(KPI)
▶ P14～15、P16、P19、P34～35、P76～77
- 6. ガバナンス
▶ P56～73

表紙の船

当社として2隻目となる18,600立方メートルタンク型LNG燃料
供給船(中国・滬東中華造船建造)で、2021年10月に竣
工・命名を予定しています。竣工後には大型船に横付けし、
環境にやさしいLNG燃料を供給します。

なお、既に稼働開始している1隻目の「GAS AGILITY」
(P1右上写真)は、重要なインフラ整備を促進するために
EUが設けている「The Connecting Europe Facility
(CEF)」制度の助成対象となっています。



Co-financed by the Connecting Europe
Facility of the European Union